



住みよい村づくりを目指して

東秩父村長 足立 理助

村民の皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より村政の執行に対し、温かいご支援ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本村においては、明るい話題の多い1年でありました。

10月には平成28年度の個人住民税の納税率が100%となったことに対し、8回目の県知事表彰を受賞できました。これも村民の皆さまの深いご理解とご

協力の賜物であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、11月には、東秩父野球スポーツ少年団が350チーム出場の大大会において、優勝の栄冠を勝ち取り、本村の名を県内にとどろかせてくれました。本村の未来を担う若い選手たちの躍進は、村民を大いに勇気づけてくれました。

そして、今年度より始動した「細川紙・大河原和紙技術者研修生支援事業」は、2名の研修生が「細川紙」の伝統技術を受

けています。また、この議会広報には皆さまのご意見も伺い掲載したいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

昨年、本村議会の議員提出議案により、11月27日を「手漉き和紙の日」と定める条例が施行されました。趣旨といたしましては、「この村の細川紙がユネスコ無形文化遺産に登録され、村民全員がこの文化に誇りを持ち、本村における手漉き和紙の歴史と文化の価値を認識してい

け継ぎ、次世代にその技術を伝えるためのスタートを切ることでできました。絶やしてはいけ

ない灯を、手を取り合い守り抜くことは、先に立つ者の役割だと切に感じておりますので、皆さまも研修生に対しご声援のほど、よろしく願います。

新年ごあいさつ

東秩父村議会議長 松澤 公一

本年の事業では、人口減少が否めない本村にとって一端の兆しとなる「移住促進」事業に力を注いでまいります。引き続き空き家バンク制度等を活かしながら、元氣村をPRしてまいり

ます。また、移住促進事業を行う上で重要なことは、「定住促進」事業を同時に遂行していか

なければならぬことです。住みよい村づくりのため、0歳児保育等の子育て支援から、お年寄り等が利用する有償運送補助などの支援に取り組みます。

本年も皆さまにとって幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

たたくとともに、後世に継承していくこと」を目的といたしました。そして昨年の11月25日には「和紙フェス2017」のイベントを開催し、和紙ランタンを点灯して和紙の灯りを満喫していた。また、比企広域消防音楽隊、滑川総合高等学校書道部、鬼太鼓座の演奏で賑やかな夜を過ごすことができました。

これからも和紙の里、道の駅を拠点として、バスハブを活用し、本村の四季折々の花や祭りを満喫するなどこうしたことを

盛り込んだ村内の観光を推進していければと考えます。また今年には、比企広域市町村圏組合の東秩父分署の完成、特別養護老人ホーム工事の着工など皆さまが安心安全な生活ができるよう東秩父村議会としても努力していかねければならないと思っております。

平成30年が皆さまにとって平和で幸せな1年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

新年明けましておめでとうございませう。昨年中は皆さまには東秩父村議会に對しまして深いご理解とご協力をいただき、平成29年の議会活動、議会事業が運営できましたことに心から感謝しお礼を申し上げます。

本村議会の今年の目標には、議会活動および各種事業について今後議会が何をしていくべきか議員一人ひとりが見つめ直すとともに、議会での発言や考え方を皆さまに伝える場として議会広報の発刊を手掛けることと